

## 特別支援教育に関する講演会

### 「発達障がいのある子のいいところ応援計画」

～子どもたちの見方を変えて味方になろう～

星槎大学大学院 准教授 阿部 利彦氏



#### ◆◆ 阿部 利彦氏のプロフィール ◆◆◆

早稲田大学人間学部卒。東京国際大学大学院社会学研究科修了。現在は、星槎大学附属発達支援臨床センター長。日本UD学会湘南支部顧問。発達障害をもつ子どもたちのサポート方法や子どもたちの魅力について、全国各地で講演会・研修講師を務めるとともに、テレビ出演、執筆活動も行う。日本LD学会、日本UD学会等、数多くの学会に所属。

#### 【主な著書】

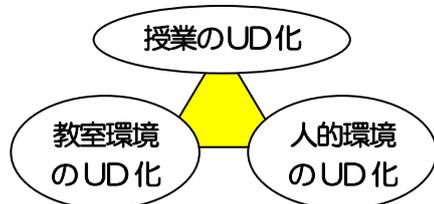
「クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイルV3対談編：達人と学ぶ！ライフステージを見据えたかかわり」  
(金子書房：2017年10月)

「通常学級のユニバーサルデザイン スタートダッシュQ&A55」

(東洋館出版社：2017年10月)

8月8日(水)、ライフパーク倉敷 大ホールで「特別支援教育に関する講演会」を開催しました。会場には教職員、福祉関係者、保護者等のおよそ400人が集まりました。子どもの「いいところ」をいかに見つけ、子ども自身の自己信頼と成長感に結び付けていくかが大切であるということ、阿部先生は動画や演習等を交えて大変分かりやすくお話をしてくださいました。

#### ○ 子どもを支える教育における3つのユニバーサルデザイン



#### ○ 見方を変えよう！「いいところ」応援計画的な発達障がいの捉え方

- ① LDのある子・・・苦手なことに日々チャレンジしている子。  
LDのある子への支援・・・学ぶ楽しさを感じてもらう。
- ② ADHDのある子・・・元気印、エネルギー満載の子。  
ADHDのある子への支援  
・・・エネルギーとのつきあい方を一緒に考える。
- ③ ASDのある子・・・自分流をつらぬくこだわりの子。  
ASDのある子への支援・・・友達とのつきあい方を具体的に教える。

#### ○ 子どもの得意なことをいかに学習方法とは

- ① 説明や提示の工夫を
- ② スモールステップで
- ③ 教材の具体化を
- ④ ゆっくりとていねいに
- ⑤ 励みになる評価を



#### ○ 声かけの心がけ

- ① 問いかけではなく、具体的に指示する。
- ② 毅然とした態度で接しつつも、励ます。
- ③ 指示の間に適度な間隔を置く。
- ④ 指示が通っているか、行動を見て確認する。

#### ○ 環境を調整し、情緒の安定を図るために

- ① 見通しがもてるように
- ② ルールや指示は明確に
- ③ 肯定的に接して
- ④ 視覚的手がかりの活用

#### ○ 学校・家庭でふわっと言葉を

- ① 人と人との「かかわりあい」において、相手の価値や存在を認める態度を、プラスの「ストローク」と言う。
- ② ふわっと言葉はプラスの言語的ストロークである。
- ③ ストロークは貯金される。

### ☆☆ 感想 ☆☆

- ・ 今まで相談をした子どもたちや支援者、保護者の方々の言葉を交えながらの阿部先生のお話を、とても興味深く聞かせていただきました。日々の生活の中で、たくさんの生きにくさ・難しさを感じている子どもたちの気持ちに寄り添えるよう、子どもたちと話したり相談したりするとともに、弱みを強みに転化し、強みを伸ばすことができる先生になりたいと改めて思いました。
- ・ 発達障がいを抱える子どもだけに目を向けがちですが、その周りには子どもたちへの関わり方・対応のあり方についても考えさせられました。教えていただいたことに、早速取り組んでいきたいと思えます。



# 教育センター 夏の研修 2018

みなさん、おつかれさまでした



2年目研修・3年目研修



教科指導(3年目・中)

## 学習指導と評価・社会科(2年目・小)

社会科は、学習と実社会を結びつけて子どもに考えさせることが大切だと分かりました。“なぜ”“どうして”という疑問を子どもから引き出せるように準備をし、しっかりとすることの必要性を感じました。

## 学習指導と評価・家庭科(3年目・小)

実践的・体験的な活動を通して、子どもたちに知識・技能が身に付いていくことを演習で実感しました。めざす児童像を考えて学習を組み立てることが大切だと学びました。生活の中で生きる家庭科にしていきたいです。

初任者の時よりも授業について悩むことも増え、自分の授業を振り返るよい機会になりました。これからは“探究”をキーワードにして、授業を展開していこうと思いました。そして、PDCAを大切にして、熟考を重ねていく学び続ける教師でありたいです。若手リーダーとして熟達教師に近づけるように頑張ります。



## 学習指導と評価・図画工作科(3年目・小)

造形遊びを実際に体験し、みんなで協力して作品を創る楽しさと大切さを実感できました。造形遊びは、想像力を自然と養うことができるので、児童にこの楽しさを体験させたいです。“図工を通して子どもを育てる”と言われた意味が理解できました。

## 生徒指導に関する事例検討(2年目・中)

生徒指導は複数の先生で対応し、冷静な状況判断が大切であると改めて感じました。事例検討では他の先生方の動きを見たり、講師の先生からは具体的に指導の仕方を教えていただいたりして、多くの学びがありました。

## 中堅教諭資質向上研修

## 教科指導の進め方

## 2年目研とのコラボ研修



2年研の先生の学習指導案を見せていただき、指導する立場にもなりました。指導するということは、とても難しいことであると感じたとともに、今後、若い先生方に指導したり、助言したりすることが多くなると思うので、今回指導していただいた講師の先生のように、的確で分かりやすく、愛情のこもった指導ができるよう励んでいきたいです。

2年目の先生、中堅の先生、講師の先生と様々な立場で、授業や校務について情報共有できたと思います。特に学習指導案の書き方や、その必要性など学んだことは、今後、授業づくりの中で実践していきたいです。講師の先生が言われていたように、今後は書き方を指導する機会もあるかと思うので、新しい情報もきちんと知っておく必要があると思いました。

一つの授業づくりを丁寧に行うことができ、国語教師としてのおもしろさを実感することができました。今回検討会を2回設けてくださったことは、ぜひたくで貴重な時間でした。講師の先生の御指導を受ける機会や、若い先生方と話をできる機会をつくってくださったことに感謝しています。

中堅研の仲間と一緒に研修を受けていると、新たな刺激を受けて勉強になる面、自分の未熟さに情けなくなる面もありますが、やはり貴重な研修だという思いを改めてもちました。

## 初任者研修

今年度の研修は98名でスタートしています。

### めざす教師像(小・中)



最も印象に残ったのは、「子どもたちが、社会に出て幸せを感じられるか。」という視点をもたなければならないということです。変化していく社会の中で、子どもたちが生きていくための準備期間として「学校」があると学びました。自分自身が学び続ける教師でありたいと強く思いました。

### 人権教育(小・中)



自尊感情が低い子どもたちに「一人ひとりが違っていい。」「相手も自分も大切に。」ということが心の中に浸透するようにしたいです。教師がモデルとなって実際に取り組んでいる姿を見せたり、お互いにほめて認め合う機会を設けたりすることを続けていこうと思います。

### コミュニケーションマナー(小・中)



無表情の挨拶と「笑顔+挨拶+名前+ひと言」を実際にやってみることで、相手に与える印象が全く違うということを改めて感じることができました。社会人としての自覚をもち、自分の学校の代表として、保護者の方や地域の方とよい関係を築いていきたいです。

### 国際教育(小・中)



「なんで!」(怒り)を「なんで?」(疑問)に変えると相手を理解することにつながるというお話は、児童生徒理解についてもいえることだと思いました。私自身の視野が狭いと痛感したので、子どもたちに教える前に、まず自分が知って理解したいと思います。

### 学習指導と評価(小)(外国語活動)



#### <学びのキーワード>

無理なく自然に  
small talk, 言語活動  
インプットとアウトプット  
伝え合うことを楽しむ

### 道徳教育の進め方(小)



#### <学びのキーワード>

よりよく生きる  
主体的・対話的で深い学び  
「パクッとつかんでググッと追ってグッと自覚する」

### アンガーマネジメントの理論と実践(中)



#### <学びのキーワード>

怒りの温度、心のコップ  
怒りのコントロール  
「べき」の境界線  
怒りは二次感情

### 学習指導と評価(中)(指導技術)



#### <学びのキーワード>

ノート・プリント発表  
黒板の前に集めて授業  
階段型マネジメント  
「できた」で終わる授業

☆☆ 水島教室 ☆☆

倉敷ふれあい教室水島教室は、ライフパーク倉敷内にある倉敷教育センター事務室の隣にあります。福田公園の近くであることから、公園の散策をして四季を感じたり、スポーツなどをしたりして過ごしています。施設内は過ごしやすく、恵まれた環境の中で活動できています。

今年度も引き続き、教室目標は「一步」です。日々一歩ずつ前向きに進んでほしいという思いをこめて、教室の前に掲げています。

「なかよし活動」では、年間を通していくつか継続しての活動に取り組んでいます。

○幼稚園交流は、近くの幼稚園へ行き、主に年長児とふれあい、一緒に水遊び・泥んこ遊び・ままごと遊び・かくれんぼ・おにごっこ・ダンスなど、たくさんの活動をします。回を重ねるごとに、園児も親しみを感じてくれるようになり、自然に笑顔あふれる楽しい活動になっています。

○スポーツは、卓球・ソフトバレーボール・バドミントン・硬式テニスをしています。初めて挑戦する人が多いのですが、少しずつうまくなってゲームができるようになり、暑さに負けずに楽しんでいます。

○ボランティアの先生にお願いをして、書道・茶道を月に1回程度しています。

○ボランティア活動（窓ふき・ごみ拾い）、音楽活動（ギター・リコーダー）、栽培活動（夏野菜）・レクリエーションなどの活動をしています。

日々、なかよく活動ができ、笑い声のたえない活発な雰囲気の教室となっています。



☆友だちづくり☆体力づくり☆野菜作り☆

☆ 楽しく元気に活動 ☆

☆☆ 児島教室 ☆☆



倉敷ふれあい教室児島教室は児島味野にあり、元幼稚園の広い敷地、大きな建物を最大限利用して活動しています。学習などの活動は教室でしますが、バドミントン、ソフトバレーボール、卓球などの室内スポーツもできます。また屋外では、広い運動場でのびのびとスポーツをしたり、野菜作りを楽しんだりしています。

通室日は月曜日から金曜日までで、午前9時30分から午後3時までです（水・木曜日は午後1時まで）。現在教室には中学校2・3年生の子どもが在籍しています。性格や体力は違いますが、それぞれ自分で学習内容などを決め、明るく協力しながら和気あいあいと元気に過ごしています。

午前中は、なかよし活動があり、スポーツ・調理・工作・栽培活動などに日替わりで取り組んでいます。時には図書館への訪問・遠足・落ち葉取りの清掃などもしています。幼稚園交流では、園児とともに虫取りを行い、ちょっとだけ大人になった気分を味わうことができました。またこれからの時期、米や落花生、サツマイモや大根の収穫もとても楽しみです。

そして、スタディの時間と呼んでいる学習時間には、数学・英語・国語・社会・理科などの学習に取り組んだり、各自のペースで計算や漢字練習などをしたりしています。

今年の夏はとても暑い日が続きましたが、ソフトバレーボールや卓球・バドミントン、またグラウンドゴルフ・サッカーをすることを通して、体力づくり・友だちづくりにも励んでいます。



みんな、がんばっています。

